

合唱コンクールを終えて

約一か月間の練習を経て、先日合唱コンクールの本番を迎えました。結果は、なんと最優秀賞を取ることができました。

練習の際、私が生徒にずっと話していたのは、「悔いが残らないように」ということでした。また、本番直前に話したことは、「悔いが残るときは、失敗した時ではなく、失敗を恐れ、全力を出し切れなかったときである」ということです。2組は出演順が最後だったので、リハーサル中、ほかのクラスの合唱を聴いているうちに、だんだんと自信がなくなっているように感じました。そこで、失敗を恐れて、自信がないように歌うのではなく、自由曲の歌詞にあるように、「みんなで、心を開いて歌う」ことを目指してほしいと伝えました。

本番では、クラスの全員が程よい緊張感の中、一生懸命に歌うことができました。今までで、一番思いが伝わる合唱だったと思います。中学生になって成長した姿も、お見せすることができたと思います。以下は生徒たちの、合唱コンクールを終えての感想です。

- 合唱コンクールは協力することが1番大切だと思います。普段の生活でも、協力し合って団結し、後悔のないように何事にもチャレンジしていきたいです。
- 先輩たちの歌声がきれいだったから、僕たちも先輩みたいに歌いたい。最初で最後のクラスで最優秀賞が取れたので良かった。
- 自分たちの全力を出し切れたと思う。練習も大体の人がだんだん本気になっていって、すごくいい雰囲気だったと思う。本番もすごく楽しかった。最優秀賞を取ることができ、結果も過程も大切にできたと思う。
- 自分でも悔いのない合唱コンクールにできてよかったし、ほかのクラスの合唱もとてもすごく感動しました。合唱後、泣いている3年生もいて本当に全力を出し切ったんだなと思いました。
- 最初は少し大丈夫かな〜と思っていたけど、本番が近づくにつれて安心してきました。
- 実行委員をはじめ、一人一人が自分の役割を果たし、最優秀賞を取ることができてうれしかったです。
- 今までの頑張りをこれからの生活で生かしていきたいし、みんなで協力することを意識していきたい。悔いのない合唱コンクールにできてよかった。
- 私は放送部としてほとんど舞台袖で放送をしていました、でも、放送もうまくできてよかったなと思いました。
- 合唱コンを通して学んだことはみんなと団結することだ。私は最初練習の時に、みんなが友達と喋って、自分勝手な行動をとっており、大丈夫かな、と心配だった。しかし、練習を重ねていくうちに、少しずつクラスがまとまっていった。最優秀賞を取ることができ、本当にうれしかった。みんな、ありがとう！



